

「第 14 回 金田一春彦ことばの学校」に参加して

2013 年には山梨県で国民文化祭が開かれ、各地で多彩な行事が開催されました。教材委員会では、日本語ボランティアとして、常にことばに対するアンテナを高めていたとの思いから、「第 14 回 金田一春彦ことばの学校 ～ことばの^{もり}杜を歩こう～」への参加を企画、7 名（+ 同伴家族 1 名）が参加しました。俳句、子守歌の演奏、直木賞作家三浦しをんさんを囲む対談、さらに金田一秀穂先生の講義など、充実した内容でした。

詳しくは参加者の一人、今村喜子さんの参加記をお読みください。

◆日時：2013 年 9 月 7 日（土） 9：30 ～ 16：00

◆場所：高根ふれあい交流ホール（北杜市高根町）



金田一秀穂先生を囲んで



三浦しをんさんの対談風景

また、休憩時間には隣接する「浅川^{のりたか たくみ}伯教・巧兄弟 資料館」を見学しました。浅川兄弟は高根町に生まれました。この資料館では、日本の植民地統治下の朝鮮半島に渡り、朝鮮工芸の美に惹かれ世界に伝えた兄弟の人物像と業績を紹介しています。

講座を終えて会場の外に出ると、厳しい残暑の甲府がうそのように、高根町は秋の気配が漂っていました。（写真：高石、記録：稲谷）